2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床医学総論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	酒井　寛	実務経験とその関連資格	医学博士。国立循環器病センター病院、国立病院機構(大阪、京都、舞鶴など)に勤務。この間、病院付属の看護助産学校、リハビリテーション学院の講師、大阪大学医学部保健学科臨地教授、国際協力事業団専門家 など。			

《授業科目における学習内容》

臨床工学技士が現場で遭遇する疾患について病態、症状、所見、治療など基本的な内容について理解する。

《成績評価の方法と基準》

中間試験と期末試験にて記述試験をおこなう。その平均点評価:70%
出席評価:20%。レポート提出状況など平常評価:10%。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:臨床工学講座　臨床医学総論
参考書:目でみるからだのメカニズム、臨床工学技士標準テキスト、検査データ活用マニュアル、コメディカルのための内科学

《授業外における学習方法》

次回の授業内容を把握するため、事前に教科書の内容を確認すること。
配布する演習問題を次回講義までに解いておくこと。

《履修に当たっての留意点》

臨床医学総論は範囲が広く,国家試験の出題数も多いため,ポイントを抑えることが大切である。解剖学,生理学,病理学,医用治療機器学との絡みも多く,疾患と関連させて理解すると記憶に残る学習が可能である。各疾患ごとに演習を実施し、理解力を確認する。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器感染症の概略、閉塞性肺疾患の特徴を理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	感染症法、感染防御機構、定型肺炎、院内肺炎、COPD、気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫、びまん性汎細気管支炎		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	拘束性肺疾患の特徴と閉塞性肺疾患との差異を理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	間質性肺炎、じん肺、珪肺、石綿肺、リンパ脈管筋腫症		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アレルギー関連肺炎、肺の代謝異常の疾患について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	過敏性肺臓炎、サルコイドーシス、PIE症候群、肺胞蛋白症、肺胞微石症、Good-pasture症候群など		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸不全の診断基準、急性呼吸促迫症候群の病態、呼吸不全の治療などを理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	呼吸不全の定義と診断基準、急性呼吸促迫症候群、人工呼吸に伴う肺損傷、在宅酸素療法、非侵襲的陽圧換気療法		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	肺の腫瘍性疾患、肺循環疾患などを理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	肺癌、縦隔腫瘍、中皮腫、肺性心、肺水腫、気胸、胸水貯留		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心臓の診断学を理解し、心不全の病態と症状、血圧の異常、動脈および静脈の疾患について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	心臓疾患の主要徴候、循環器疾患の診断法、右心不全、左心不全、高血圧、低血圧、動脈硬化、大動脈瘤、マルファン症候群		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	冠動脈疾患、弁膜症について病態、治療法などを理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	狭心症、心筋梗塞症、僧帽弁狭窄症、僧帽弁逸脱症候群、大動脈弁狭窄症、大動脈弁閉鎖不全症、感染性心内膜炎		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	先天性心疾患について病態、治療法などを理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	心室中隔欠損症、心房中隔欠損症、動脈管開存症、Fallot四徴症		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	先天性心疾患について病態、治療法などを理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	総肺動脈還流異常症、完全大血管転位症、三尖弁閉鎖不全、アイゼンメンジャー症候群、川崎病		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	不整脈の分類、および各不整脈の特徴を理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	心房細動、心房粗動、WPW症候群、心室頻拍、心室細動、房室ブロック、洞不全症候群		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心筋炎、心筋症、肺動脈疾患の病態、治療法などを理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	心筋炎、肥大型心筋症、拡張型心筋症、急性肺血栓塞栓症、原発性肺高血圧症		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	内分泌疾患の概論、下垂体、甲状腺の機能亢進症と機能低下症を理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	下垂体腺腫、巨人症、末端肥大症、下垂体機能低下症、シーハン症候群、尿崩症、バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	副甲状腺、副腎皮質の機能亢進症と機能低下症を理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	原発性/腎性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症、クッシング症候群、原発性/続発性/偽性アルドステロン症、アジソン病		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	副腎髄質の機能亢進症、糖尿病などの代謝疾患について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	褐色細胞腫、1型糖尿病、2型糖尿病、妊娠糖尿病、3大合併症、糖尿病の予防、脂質異常症、痛風、骨代謝、ビタミン欠乏疾患		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	本講義内容について、要点を理解した上で説明ができるようになる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	総合演習を行ない、講義内容の理解度を測る。		